

ポジティブリストの取り組みは

町長／周知、啓発を図る



岩元涼一議員

岩元 ポジティブリスト
制の導入により残留農薬
に対する基準値が新たに
設けられた。本町でもこ
れを遵守しなければなら
ないが、今後の取り組み
について伺う。

町長 今までの食品衛生
法が改正され、残留農薬
の基準値が定められてい
なかった農薬に対しても
0・01PPM以下の数
値が設定され、基準値を
超えた農産物等は広い範
囲で出荷停止、回収など
が求められます。隣接ほ



安心・安全で美味しい梨

場からの飛散農薬による
被害発生も考えられます
ので、「さつま農業飛散
防止対策協議会」を設置
し、防止対策の周知、啓
発を進めながら農業者の
皆さんへの指導に取り組
みます。

ポジティブリスト制
全ての農薬について、
農作物中に残留しても許
される基準値が設定され
ています。その残留基準
値を超過した農産物は流
通を禁止することをいい
ます。



山崎文久議員

担い手支援室の状況は

町長／積極的な支援をしていく

山崎 来年度から始まる
「品目横断的な経営安定
対策」を踏まえ、担い手
支援室の取り組みの現状
と課題について伺う。

町長 町と農協がワンフ
ロア化し、各関係機関と
連携して支援活動を展開
しています。全ての認定
農業者に対して巡回訪問
をし、課題解決の支援を
展開します。集落営農に
ついては、地域のまとめ
役の方々に将来のビジョ
ンづくりに向けた支援を
展開します。

リモートセン シングについて

町長／産学官の取 組みを進めたい

山崎 米は価格低迷や産
地間競争の激化等厳しい
状況だが、リモートセン
シング技術を米販売の戦
略として取り組むべきで
は。

町長 管内の米の品質格
差をリモートセンシング
技術により、科学的に検
証するとともに生育モデ
ルを構築し、今後の栽培
管理に反映することで、
良質米生産及び農業所得
向上につながると思いま
す。産学官の関係機関が
連携し、農業の振興に努
めます。

リモートセンシング
農作物からの光の反射
光（色、波長など）を測
定・解析することで、農
作物の生育状態や品質等
を把握する技術です。



役場・農協が机を並べる担い手支援室